

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス からふる出戸			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に安心して、 楽しんでご利用いただけている。	イベント企画などを積極的に行い、 常に新しい体験ができるようにしている。 また、児童同士の関わりを促進できるように スタッフが関わりを持つようにしております。	ご利用者様からも、ご意見をいただきながら、 イベント企画を行って参りたいと思います。
2	ご利用に関する内容のご説明を丁寧に行い、 ご納得いただけている。	ご見学、体験などを通して、 からふるの支援に関する内容をご説明している。 またご利用開始後も、家庭訪問や面談などを通して ご利用に関するご説明を行い、 計画書を作成しております。	小さな疑問点を見逃さず、 しっかりと説明・フォローアップを行って参ります。
3	事業所の活動内容など、 ホームページやブログを通して発信できている。	毎月、更新回数を取り決めて更新。 また活動後には、活動時のご様子を伝えるために 保護者様に活動写真などを個別でお送りしております。	更新の頻度を見直すなど、 活動内容をよりお伝えできるように努めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の耐震性や支援空間への配慮が不足している。	事業所建物の老朽化が進んでおり、 設備等に不具合がでてきている。 また清掃が行き届いていない所がある。	事業所の移転を含めて検討を行っている。 また清掃にも力を入れて取り組み、 ご利用者様が快適に過ごせる事業所を 目指して参ります。
2	ご利用ご家族様とのコミュニケーションが 不足していると感じさせてしまっていること。	ICT化を進める中で、 事業所とのコミュニケーション手段が変更となり 結果として関わる機会が減ってしまっている。 また職員の配慮不足により、 不安感を抱かせてしまうことがある。	保護者様のお声に傾聴する姿勢を忘れず、 細やかな情報共有を心がけてまいります。 また勉強会や研修を通して、 支援スキルの向上に努めて参ります。
3	地域との関わりが少なさ。	地域との関わりが持てるような 活動内容を提案できていない。	地域との接点を持てるイベントを積極的に企画し、 地域とのつながりを作れるように努めます。